

宮城県林業普及活動情報

2022. 9月号 No. 172

もくじ

各地の林業普及活動情報	P 2 ~ 11
○大河原中学校職場体験	(大河原地方振興事務所)
○木工工作コンクール作品展示会	(大河原地方振興事務所)
○苔生産に関する相談	(大河原地方振興事務所)
○柴田農林高等学校の演習林実習	(大河原地方振興事務所)
○「野生きのこ等」販売に関する巡回指導	(大河原地方振興事務所)
○「県産材を使用した木工教室」の開催	(仙台地方振興事務所)
○宮城大学の学生と間伐体験inキャンパス林	(仙台地方振興事務所)
○加美町広葉樹活用意見交換会の開催	(北部地方振興事務所)
○おおさき森林・林業ふれあい展の実施	(北部地方振興事務所)
○木工工作コンクール栗原地区応募作品展の開催	(北部地方振興事務所 栗原地域事務所)
○森林経営計画策定指導	(北部地方振興事務所 栗原地域事務所)
○竹林侵入防除について提案	(北部地方振興事務所 栗原地域事務所)
○くりはらの苔PR動画の撮影	(北部地方振興事務所 栗原地域事務所)
○木工工作コンクール作品展(石巻圏域)の開催	(東部地方振興事務所)
○各市町の森林経営管理制度の取組支援	(東部地方振興事務所)
○海岸防災林の保育方法の検討	(東部地方振興事務所)
○親子木工教室の開催支援	(東部地方振興事務所)
○女川林業振興会の先進地視察支援	(東部地方振興事務所)
○ドローン撮影画像を用いた面積計算の省力化に向けて	(東部地方振興事務所 登米地域事務所)
○石越中学校キャリアセミナー	(東部地方振興事務所 登米地域事務所)
○キクラゲ生産者への販売及び出荷に向けた支援	(気仙沼地方振興事務所)
○令和4年度(第59回)林業教室必修講座②と閉校式の開催	(林業技術総合センター)
○令和4年度林業普及指導員専門別研修(林業機械)の開催	(林業技術総合センター)

大河原中学校職場体験

大河原地方振興事務所

【7日(水), 8日(木)】

大河原中学校から依頼があり、2学年の総合的学習である「職場体験学習」において林業関係の受入れ先を調整し、当日の実施支援を行いました。「仙南中央森林組合」、「白石蔵王森林組合」、みんなの森づくりプロジェクト推進事業実施団体「うらやまあそび仙人」に協力をいただき、林業機械の操作体験や、森林整備作業体験などを通じ、林業の仕事について関心を深めていただきました。また、参加した生徒からは、「知らなかった機械や技術を知ることができた」「作業終わりはとても満足のいく達成感があった」などの感想があり、林業の魅力を伝えるいい機会となりました。

今後も管内の小中学校で、林業が取り上げられるよう働きかけるとともに、同校への継続した支援を行っていきます。



【作業の様子】

木工工作コンクール作品展示会

大河原地方振興事務所

【10日(土), 11日(日)】

みやぎ児童「木工工作」コンクールの開催にあたり、当管内の4校から13点の応募作品について、柴田町観光物産交流館イベント・ギャラリーを会場として、2日間にわたり展示会を開催しました。

出品した児童の家族をはじめ、178名の方に来場いただき、木の持ち味を生かしたアイデアあふれる作品を鑑賞いただくとともに、パンフレットを配布し、木材利用についてPRすることにより、木材への関心を深めていただくことができました。

今後も、木材の利用拡大に向けPRを行っていきます。



【来場者が観覧している様子】

苔生産に関する相談

大河原地方振興事務所

【14日(水)】

角田市の方から、苔生産に関する相談があり、苔に関する基本的事項や、県内の先進生産地である栗原地域での取り組み等について、情報提供を行うとともに、合同庁舎敷地内に設置している圃場において、実際に苔に見て、触れていただきました。

苔生産で成果を出すには、ある程度時間を要するため、まずは、地域に自生する苔の調査等、できることから少しずつ取り組んでみたいと前向きな意見が聞かれたことから、今後、苔調査や、先進地視察の希望等があった際には、随時、助言・指導を行っていきます。



【合同庁舎敷地内の圃場での指導の様子】

柴田農林高等学校の演習林実習

大河原地方振興事務所

【13日(火)】

柴田農林高等学校の生徒を対象として毎年実施している演習林実習に対して、今回は森林環境科3年生を対象に「森林作業道の作設方法等」について講義を行うとともに、実際に図面での線形検討と現地での照合を行いました。

生徒からは、「線形検討は事前の現地踏査が重要性だということが分かった」等の意見が聞かれ、林業における作業道の重要性について理解を深めていただきました。



【講義の様子】

「野生きのこ等」販売に関する巡回指導

大河原地方振興事務所

【21日(水), 27日(火), 30日(金)】

秋のきのこシーズンに伴い、管内の特用林産物を取り扱う管内の14直売所を対象に食の安全・安心を確保するため巡回指導を実施しました。

野生きのこ類については、食中毒だけでなく、放射性物質に注意する必要があるため、販売する場合には、採取場所を確認の上、出荷前検査をして安全性を確認する必要がある旨、再度伝達し、各店主からも十分に理解を得られました。

引き続き、関係機関と連携し、巡回指導を行い、安全・安心な特用林産物の流通について、注意喚起を行っていきます。



【現場での聞き取り・指導・助言の様子】

「県産材を使用した木工教室」の開催

仙台地方振興事務所

【10日(土)】

『第15回みやぎ児童「木工工作」コンクール展示会inせんだい』を9月9日(金)から15日(木)の間、仙台市泉区七北田緑化ホールで行いました。仙台地方振興事務所管内32小学校から合計84点の応募作品について、審査会を行ったのち、1週間展示したものです。また、今年は上記展示期間中である9月10日(土)に、宮城南部流域森林・林業活性化センター仙台支部と協力し「県産材を使用した木工教室」を行いました。当日は、林業研究グループとも協力し、13組の親子と18個の木製貯金箱を作りました。参加した親子からは「くぎや金槌を使う機会が少なく貴重な体験となった」という意見を多くいただきました。

これからも、多様な関係者皆さんと連携・協力をしながら、「木育(もくいく)」活動を盛り上げていきたいと思えます。



【第15回みやぎ児童「木工工作」コンクール展示会inせんだい】



【県産材を使用した木工教室】

宮城大学の学生と間伐体験inキャンパス林

仙台地方振興事務所

【29日(木)】

宮城大学の学生が、森林講座で学んだ「間伐」を、実際にキャンパス林で行いました。

当日は、林研グループによるチェーンソーを用いた伐倒実演が行われたほか、学生14名はノコギリを使って5本のスギの伐倒、枝払い、玉切り、集積を1時間ほどかけて行いました。

25年後の大学創立50周年に向けて、皆どのようなキャンパス林にしていくのか考えながら、これからは森林整備作業を続けていくこととしました。



【間伐体験会】

加美町広葉樹活用意見交換会の開催

北部地方振興事務所

【1日(木)】

令和2～3年度に、加美町町有林において、広葉樹林の持続的な材利用を推進するための取組を行いました。

今回、更に材利用を進めるための意見交換会を開催しました。

これまでの実績を整理し、町、森林組合、素材生産業者、県で情報共有、認識の統一を図った上で、意見交換を行いました。

意見交換を行う中で、「場所の確保、材の選定」、「採算性の確保」、「事業実施するための人材の確保」等の課題が出されたことから、これらの課題を解決し、サプライチェーンを確保しながら広葉樹材利用を進めていきます。



【意見交換会の様子】

おおさき森林・林業ふれあい展の実施

北部地方振興事務所

【10日(土), 11日(日)】

今年度の木工工作コンクールの作品展示とあわせて、森林・林業に関するパネル展示や工作体験等を、大崎市の地域交流センター「あすも」で行いました。

従来、合同庁舎で展示等していたため、土・日は、閉庁日で公開できませんでしたが、今回、市の施設をお借りして土・日開催を実現することができました。

市のイベント(11日)と重なったことで大幅な来場者増となり、多くの方々にPRすることができました。

来年度も同様の開催を検討していきます。



【作品展示(右)と工作体験(左)の様子】

木工工作コンクール栗原地区応募作品展の開催

北部地方振興事務所 栗原地域事務所

【9月8日(木)～10月2日(日)】

宮城県木材同友会主催の第15回みやぎ児童「木工工作」コンクールに応募があった栗原管内の児童の木工作品による「栗原地区予備審査会・応募作品展」を、こもれびの森・森林科学館において開催しました。

今年も夏休みを前に館内の小学校12校を巡回し作品応募の依頼を行った結果、6校から昨年の2倍以上の44点の応募を得ることができ、9月7日の予備審査会を経て10月2日ま



【こもれびの森・森林科学館での作品展】

での25日間において作品展を開催しました。

応募作品の中には、夏休み期間中に何度も森林科学館のネイチャークラフト教室に通って完成させた作品もあるなど、今年度は特に自然素材の魅力が大きく引き出された創意工夫に富む作品が多く応募されました。

宮城県としては「木に触れて、木と遊び、木を知ろう」とした「木育」活動を推進していますが、この木工工作コンクールは、みやぎの児童が夏休みを利用して「木育」に取り組める絶好のステージとなっていることから、来年度は今年度以上の応募学校数・作品数を期待しているところです。



【作品応募の記念品として、栗原市のマスコットキャラクター「ねじりほんによ」のコースターをプレゼント】

森林経営計画策定指導

北部地方振興事務所 栗原地域事務所

【9日(金)】

森林育成事業の補助要件である森林経営計画について、新規1団地・変更2団地の作成援助申請があったため、作成に必要な書類を提示し、作成方法等を指導するとともに事業の進捗を確認しました。

今後も、同様の支援を行います。



【該当する団地を確認】

竹林侵入防除について提案

北部地方振興事務所 栗原地域事務所

【9日(金)】

一迫地区の住民から竹の侵入が作業場及び田畑へ著しいため困っているとの相談を受けました。

現場周辺は、草木川と傾斜地で伐採条件が悪く家族間の対応では限度があり何か良い対処法がないかとのことでした。

竹林防除に向けた補助事業がないため、引き続き個人対応とはなりますが、高さ1mでの伐採とラウンドアップによる薬剤処理の併用を助言しました。

当面は、その効果を見るため田畑の方から実施してみるとのことでした。また、「同様に困っている人が近所にいるので、有効な対処法があれば情報提供してほしい」との要望がありました。



【防除マニュアルを参考にして提案】

くりはらの苔PR動画の撮影

北部地方振興事務所 栗原地域事務所

【21日(水)】

くりはらの苔に関する情報発信のための動画作成に向けて「文字苔っこの会」会長と地域おこし協力隊の方に出演をお願いし、愛藍土・文字敷地内において、PR動画撮影を行いました。

当日は、会で苔栽培に取り組んだ経緯や苔栽培試験地の説明などの内容で撮影しました。今後は、動画の編集を行い、事務所公式「YouTubeチャンネル」で配信する予定です。



【撮影の様子】

木工工作コンクール作品展(石巻圏域)の開催

東部地方振興事務所

【7(水)～9(金)】

一般の方々への木材のPRを目的に、「みやぎ児童木工工作コンクール」の管内応募17作品について、石巻合同庁舎玄関ホールで展示会を開催しました。

来場者は作品の前で立止まり、子どもたちの力作の数々を興味深く眺めていたほか、当方が準備した配布用の端材を持ち帰る方もあり、森林や木材の良さについて、身近に感じてもらうことができました。



【合庁での木工作品展開催】

各市町の森林経営管理制度の取組支援

東部地方振興事務所

【13(火)～14日(水)】

今年度事業の取組状況や課題について、各市町と打合せを行いました。

打合せ内容(現在の取組状況)

- ・石巻市：集積計画策定、森林整備事業、意向調査の業務管理
- ・東松島市：集積計画及び森林整備の策定作業
- ・女川町：集積計画策定、防鹿柵設置、森林整備等の計画策定

各市町とも今後は集積計画を公告し、順次、森林整備事業着手に向けて取組む見込です。



【女川町での打合せの様子】

海岸防災林の保育方法の検討

東部地方振興事務所

【26日(月)】

現在保育期にある海岸防災林（クロマツ：大川，大曲浜地区）での，ニセアカシアやクズ等の除去方法の検討を行いました。

今後，県民参加型の海岸林保育管理の普及を検討しているため，効果的な除草方法を試験施工しました。特に，繁茂が旺盛なクズについては，刈り払いのほか，薬剤による方法も検討し，その効果を次年度に検証する予定です。



【刈払現地（大曲浜地区）】

親子木工教室の開催支援

東部地方振興事務所

【22日(木)】

森林・林業への理解促進のため，親子木工教室（主催：宮城北部流域森林・林業活性化センター石巻支部）の開催を支援しました。

木工作業に先立ち，当所から森林の働きに関するクイズを出題し，森林の循環利用の重要性について解説しました。

また，イスの製作では，座面に合わせて板を切断したり，各部材を木ネジで止めるなど，基本的な木工を体験をすることができ，各親子ともとても熱心に取り組み，木とふれあっていました。



【親子協力！木工作業】

女川林業振興会の先進地視察支援

東部地方振興事務所

【30日(金)】

当会活動の今後の参考に資するため，自伐型の地域林業支援と木質バイオマス発電事業の先進地視察（視察地：気仙沼市内）を行いました。

視察先では震災復興の一環として林業（間伐事業）や発電事業に取り組み，木材を中心とした地域経済が循環している様子には，参加者から驚きや感心の声が上がリ，当会の活動にとっても今後の大きなヒントになったところです。



【ガス化エンジン発電の見学】

ドローン撮影画像を用いた面積計算の省力化に向けて

東部地方振興事務所 登米地域事務所

【13日(火)】

補助事業の施行地内に沢が存在し、補助対象面積から除外する必要がある箇所、ドローンによる空中写真からオルソ画像を作成し面積を算出する方法を支援しました。

現地は、除地とすべき沢とその兩岸の未施行地部分の延長が長く、コンパス測量をするとな大な労力と時間が費やされますが、ドローンによる精緻なオルソ画像をもとに除地面積を算出したことで大幅な軽減を図ることができました。

今後も同様の支援を行ってまいります。



【オルソ画像をもとにした除地面積の確認】

石越中学校キャリアセミナー

東部地方振興事務所 登米地域事務所

【2日(金)】

生徒に、将来のキャリアに対する目的意識を持たせることで、主体的に自分の進路を選択しようとする意欲と態度を育むことを目的に開催された「石越中学校キャリアセミナー」に講師として参加し、森林や林業に関わる仕事の内容について紹介しながら、中学生からの質問に応じました。

森林組合等の職員として山で木を伐採するような仕事のほかに、公務員として森林の利用方法を計画したり、山の保全や整備の観点から治山工事や林道工事を実施する等の仕事があることを知ってもらいました。また、地球温暖化防止対策における吸収源対策を進める上で、森林の整備や保全が重要であることを理解してもらいました。



【森林・林業の話を真剣に聞く中学生】

キクラゲ生産者への販売及び出荷に向けた支援

気仙沼地方振興事務所

【13日(火)】

当事務所水産漁港部が主催する「水産の日販売会」での水産と林業のコラボ販売に向けた案内があったことから、気仙沼市内において、イベントホールを改装し、令和3年度からキクラゲ生産に取り組んでいる生産者に対し、初となる販売会の出展及び認知度向上に向けた支援を行いました。

生産者は、約90個ほどの菌床を活用して生及び乾燥キクラゲを生産し、地元産直向けに



【キクラゲ生産の様子】

出荷販売しておりますが、「生産・出荷に関するコストの関係で、あまり販路を拡大できない中、認知度向上の機会を得られることはありがたい」との話がありました。

一方で、「生産から出荷までの全工程を一人で行っていることから、配送距離によって対応できない面も大きい」との意見もあったことから、今後の安定的な出荷販売に向けた支援を進めていきます。



【大きなキクラゲに育ってます】

令和4年度(第59回)林業教室必修講座②と閉校式の開催

林業技術総合センター

【6日(火)】

10名の受講生を得て、自社で素材の調達から建築まで手掛けるタカカツグループ、株式会社タカカツ建材のプレカット工場と製材工場において白鳥製造部長と菊地次長から工場設備と製品等について説明いただきました。その後、当所研修棟において、全員から受講を終えての感想を得て、所長から修了証書を授与しました。

受講者からは「就業初心者として林業の基礎知識を学べて良かった」との声を聞くことができました。

今後も、林業従事者の育成を支援していきます。



【製材工場見学の状況】

令和4年度林業普及指導員専門別研修(林業機械)の開催

林業技術総合センター

【22日(木)】

県の林業職員に対し「刈払機取扱作業員に対する安全衛生教育実施要領」に基づき、「林業・木材製造業労働災害防止協会発行の教材」を用いて、安全衛生教育を実施しました。

社会背景により関係法令等が成立し減災に寄与した点、また、簡易担架の作成実技及び周波数補正振動加速度3軸合成値の理解と基本動作の習熟について傾注して教示しました。最後に、修了者に修了証を手交しました。

林業現場において様々な案件に対応できる



【簡易担架の作成】

よう,限られた時間内で濃密に指導しました。
今後も,県の林業職員の技術向上に務めます。



【基本動作の習熟】



【刈払実技の状況】